

横浜市大

ヒト i P S から肝組織

横浜市立大学の谷口英樹教授と武部貴則助手らのチームは、ヒト i P S 細胞(万能細胞)などを材料にして立体的な肝臓組織を作り出すことに成功した。細胞が自律的に組織を形作る「三次元組織誘導技術」を使い、内部に血管網を持つ肝臓の原基(肝芽)を製作。マウスに移植すると肝芽は生体内で成長し、血液が正常に流れ、ヒト肝臓特有の代謝機能を発揮することが分かった。臓器移植などの再生医療のほか、薬

物代謝を調べるための研究素材に実用化できる可能性がある。12日から横浜市内で開かれる日本再生医療学会総会で発表する。
(18面に詳細)